

## 目標達成計画

作成日: 平成 27年 5月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	身体拘束廃止委員会を設置し、チームや施設全体としての判断が行われる様に話し合いを重ね「身体拘束に関する説明等、経過観察記録」を作成し、記録に残す事が必要である。	身体拘束委員会を立ち上げ、チームや施設全体として、話し合いを重ね記録に残していく。	身体拘束委員会を立ち上げる。話し合いのもと、家族に説明署名をもらう。利用者の状態を観察しながら、期間を定め見直し、その都度チーム、施設にて話し合い同意を得る。	12ヶ月
2	4	利用者への声かけ、言葉遣いに改善の余地があるように思われる。年間計画を立て、系統的な研修の機会を持つことを期待する。	年間計画を立て、施設、職員間にて利用者様に対し、尊敬の意を持ち対応できるようにする。	年間計画のもと、施設全体にて現状の把握と共に留意点を共有する。また、外部の研修にも順次参加し意識を高めていく。	12ヶ月
3	33				ヶ月
4	35				ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。